

A. 主な動き

1. 内政

▼大統領罷免の動き

・29日、民主党は、AIEの他政党の活動を非難、野党(共産党)を国家統治に招請する可能性を示唆する声明を発表。

・30日、政党「我々のモルドバ」はギンプ大統領代行の罷免を要求、AIEが審議を拒否した場合には他の無所属議員と共に本会議を欠席すると発言。

・30日、共産党はギンプ大統領代行の罷免を要求するために議会本会議に出席したが、議事日程に罷免決議が掲載されなかった事から再度本会議を退席。ヴォローニン前大統領は、共産党はギンプ大統領代行に対するルプ民主党党首の対応を確かめるために出席したと強調、ルプ党首は言行不一致であり右翼と非難。

・30日、ルプ民主党党首は、ギンプ大統領代行が権限を党益追求に使っていると非難。

・30日、ヴォローニン前大統領は、共産党が現在の議会に戻ることは二度と無いと発言。

▼憲法改正・選挙

・30日、ギンプ大統領代行は、大統領選挙が11月14日より早く行われる可能性があると言。

・1日、憲法裁判所は、AIEの提出した憲法改正案の合憲性を7日に審議することを発表。

・1日、企業家のアナートル・スターチ氏が、大統領選挙に出馬する意向を表明。

・1日、ギンプ大統領代行は、議会は9月16日までに解散される可能性が高いと発言。

・2日、AIEは、大統領選挙にかかる国民投票を9月5日に実施することを正式に決定。

2. 沿ドニエストル

▼沿ドニエストル合同委員会(JCC)

・1日、JCC沿ドニエストル側代表団は、ギンプ大統領代行による6月28日を「ソ連占領記念日」とする大統領令が沿ドニエストル安全保障地帯における状況にマイナスの影響を及ぼす可能性があると言、ロシアに対し安全保障地帯における軍事的プレゼンスを増強するよう要望。

▼「5+2」者フォーマット会合

・2日、オシボフ沿ドニエストル問題担当副首相は、5日にモスクワを訪問し、その後7日から8日にかけてウィーンで行われる「5+2」者フォーマット非公式会合に参加する旨を発表。

3. 経済

▼財政

・1日、モルドバ議会は、2010年度予算の修正予算案を採択。ネグルツァ財務相は、収入は163億3100万レイ、支出は197億8100万レイ、財政赤字はIMF、世界銀行及びEUからの支援でまかなうと説明。また、予算案の修正により、国营放送会 Teleradio-Moldova に追加的に1500万レイが投入され、また社会保障分野での所要の追加支出が確保されると説明。

▼その他

・30日、EBRDは、モルドバに対して2011年に1億ユーロの支援を行うと発表。支援は、インフラ整備、上・下水道整備、省エネ及び中小企業支援を優先して実施。

4. 外政

▼ソ連占領記念日に関するギンプ大統領代行の大統領令をめぐる問題

・26日、レアンカ外務・欧州統合相は、大統領令が、露平和維持軍のモルドバ領内からの撤退に資するとは考えられないと発言。

・28日、ヴォローニン前大統領は、ギンプ大統領代行が6月28日をソ連占領記念日とする大統領令をバセスク・ルーミア大統領と相談の上で発出したと言、ギンプ大統領代行はルーミアの命令に従って動いていると批判。

・30日、露国家院は、ソ連占領記念日に関する声明を採択、右大統領令が歴史を曲げる試みであり、モルドバ・露関係に反発する政治的なキャンペーンでしかたないと批判。

・3日、ルプ民主党党首は、ギンプ大統領のソ連占領記念日に関する大統領令が、「5+2」者協議の開催を危うくしていると批判。

▼その他

・28日、フィラト首相とチョードリー駐モルドバ米国大使は、新査証協定に署名、労働及び留学のカテゴリーの滞在期間が最高5年に延長され、査証手数料も値下げ。

・29日、外務・欧州統合省は、パランカ村付近の7.7キロメートルのオデッサ・レニ街道及びアスファルトの下土地がウクライナの領土であると認めるプレスリリースを発表。近期中に国境標識が設置される予定。

5. 防衛

▼中国の軍事協力

・1日、中国国防省対外関係部長リファ少将は、中国国防省はモルドバ軍に対し74万ドル相当の特殊車両、コンピュータ機器及び発電機などを提供すると発言。2002年にモルドバと中国間で協定が署名されて以降、中国はモルドバ軍に100万ドルを超える機器を提供するとともに、中国の士官学

校でモルドバ士官の教育を受け入れている。

本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と標記しています。
(了)